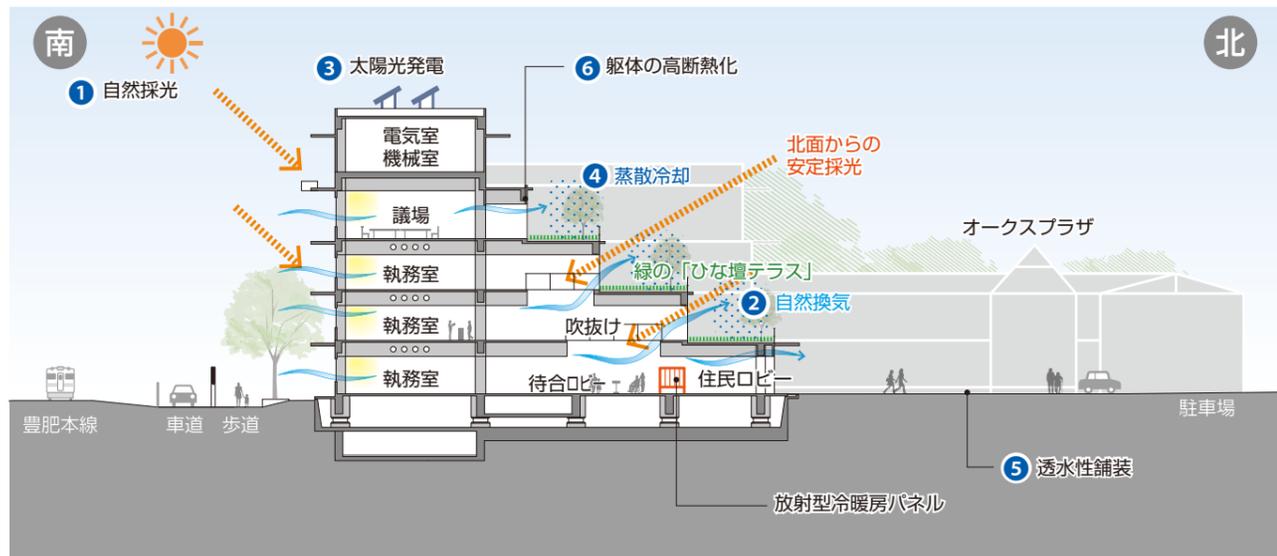


●環境配慮計画 「環境負荷軽減策を取り込んだ環境配慮型庁舎」

地球環境への影響を最小限に抑えるように環境負荷軽減策を取り込んだ環境配慮型庁舎を目指しています。吹き抜け空間を生かした自然採光や自然換気の促進、エネルギー消費量の少ない高効率設備機器の採用、建物の長寿命化、維持管理費用の低減などの費用対効果に優れた設備を採用し、ライフサイクルコストに配慮した構造、設備を目指していく予定です。

また、太陽光などの再生可能エネルギーを活用して、庁舎内の電力消費の削減を図ります。



▲大津町の気候に配慮し、自然の力を利用した「パッシブデザイン」



▲太陽光発電パネルを使った再生可能エネルギー活用（イメージ）



▲放射型冷暖房パネルを使ったエネルギーを節約した庁舎内（イメージ）



▲南西側外観
西日を遮るパネルと日差しを制御するひさしが特徴。ひさしは外からの清掃や自然換気ができます

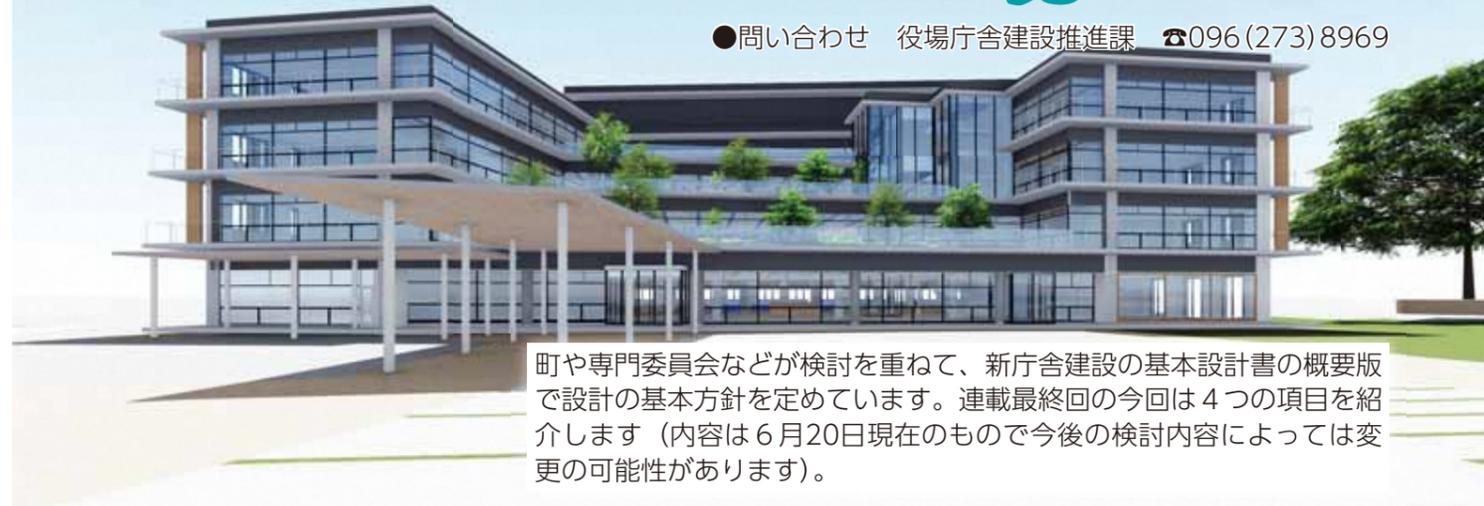
●今後の取り組み スケジュール（予定）



連載【大津町新庁舎建設基本設計書】③基本設計書 概要版

住民の皆さんに 愛される庁舎をめざして

●問い合わせ 役場庁舎建設推進課 ☎096(273)8969



町や専門委員会などが検討を重ねて、新庁舎建設の基本設計書の概要版で設計の基本方針を定めています。連載最終回の今回は4つの項目を紹介し、内容は6月20日現在のものです。今後の検討内容によっては変更の可能性があります。

●まちづくり



▲新庁舎のふかんイメージ

●経済性と柔軟性に配慮した庁舎



▲断面イメージ 開放的な執務空間